第5章

施策No.

5-4

文化芸術の振興と文化財の保存・整備・活用

▼政策目標

5 新時代を拓き生き抜く人材を育成するうわじま

▼施策 ▼施策の内容 5-1 学校教育の充実 5-4-1 文化芸術にふれる機会の充実 P205 ▼主要事業 5-2 生涯学習の充実 文化芸術振興事業 5-3 スポーツの振興 5-4-2 文化芸術団体の育成 P205 文化芸術団体育成事業 5-4 文化芸術の振興と文化財の保存・整備・活用 5-4-3 文化施設の整備充実 P205 5-5 青少年の健全育成 文化施設整備・管理事業 5-4-4 文化財の保存・整備・活用 P206 5-6 国際化・地域間交流の推進 文化財保護事業 5-4-5 歴史文化施設の活用 P206 歴史文化施設管理運営事業



4

文化芸術の振興と文化財の保存・整備・活用

施策の方針

より多くの市民が文化芸術に身近にふれ、個性豊かで創造的な市民活動を行えるよう、市民主体の文化芸術活動を促進する環境整備を進めながら、歴史文化の薫り高いまちづくりを一層進めるため、貴重な文化財の保存・活用を図ります。

現状と課題

文化芸術は、人々に精神的な豊かさや感動を与えるとともに、コミュニケーションを活発化し、 生きる勇気と喜びをもたらすものであり、人々のの生活に欠かせない重要な要素です。

本市においても、市民が文化芸術にふれ、個性を発揮し創造活動に関わることによって、個人が元気になるだけでなく、他者への発信や協働を通じて多くの人々を元気にする力を生み出すため、文化芸術を鑑賞、参加、創造することができる環境づくりに努めています。

また、文化協会をはじめとする文化芸術団体が自主的な活動を展開していますが、参加者の高齢 化や後継者不足、子どもが文化芸術を鑑賞する機会の不足といった状況もみられ、今後一層、支援 体制の充実を図り、青少年から高齢者の世代まで、より多くの市民が身近にかつ気軽に活動に参加 できる環境の整備を進めていく必要があります。

一方、人々の価値観の多様化に伴い、物質的な豊かさよりも精神的な豊かさが求められ、地域の 伝統文化が見直される傾向にあります。

本市は、西国の伊達領として栄えた歴史を持つ歴史ロマンのまちであり、国の重要文化財に指定されている宇和島城をはじめ、有形・無形の文化財が数多く存在し、国・県・市の指定文化財が合計で163件にのぼるほか、中世の城郭跡を中心に埋蔵文化財の包蔵地が市内全域にわたって点在しています。

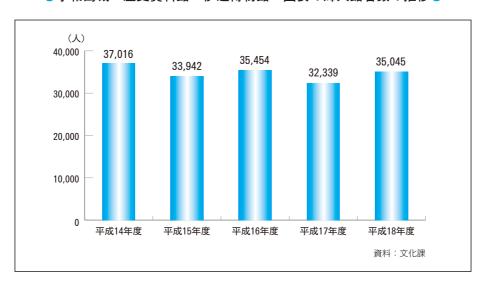
現在まで、これら文化財の保存・活用や埋蔵文化財の発掘調査を進めてきましたが、生活様式の変化や市街化の進行、市民の価値観の変化、後継者不足などにより、文化財は消失の危機にさらされています。

貴重な文化財を後世に残していくためには、積極的な保存の取り組みが必要であり、今後は、宇和島城をはじめ、遊子水荷浦の段畑や岩松の町並みなどの保存整備を進めるとともに、埋蔵文化財の発掘調査を進めていく必要があります。

また、本市には伊達博物館、宇和島城天守・城山郷土館、歴史資料館、吉田ふれあい国安の郷など、歴史文化にふれあえる施設があります。

これらの施設は、市民の郷土に対する理解と関心を高めるとともに、歴史文化や風土を内外に発信するものとして重要な役割を担っていることから、今後とも情報発信や内容充実等を進め、有効活用を図っていく必要があります。

●宇和島城・歴史資料館・伊達博物館・国安の郷入館者数の推移●



● 施策の内容

5-4-1 文化芸術にふれる機会の充実

文化講演会やミュージカルをはじめ、魅力ある文化事業を企画・開催し、多様な文化芸術を鑑賞する機会の充実に努めるほか、文化芸術に関する情報提供や他地域との文化交流の機会の提供に努めます。



文化芸術振興事業

5-4-2 文化芸術団体の育成

文化協会をはじめ各種文化芸術団体の育成、指導者・後継者の育成・確保を図るとともに、市民による文化祭や自主的な展示会、発表会の開催を支援し、活動成果を発表する機会の充実に努めます。

主要事業

文化芸術団体育成事業

5-4-3 文化施設の整備充実

既存の文化施設の整備充実を計画的に推進するとともに、高度化、多様化する市民ニーズに対応し、美術館などの新たな文化施設の整備について検討します。

主要事業

文化施設整備・管理事業



5-4-4 文化財の保存・整備・活用

重点プログラム②

- ① 宇和島城については、石垣の修復や天守の改修など、保存整備を引き続き計画的に推進します。また、関連部局相互の連携のもと、景観形成等と一体となった遊子水荷浦の段畑の保存・管理・活用、津島地区岩松の伝統的な町並みの保存整備を推進します。
- ② その他指定文化財の適切な保存・活用に努めるとともに、埋蔵文化財についても市民の理解と協力を得ながら調査及び保存・活用を進めます。
- ③ 無形文化財や伝統行事、祭りなどについても、保存団体や後継者の育成・支援等を通じて積極的にその保存・伝承に努めます。
- ④ 郷土の文化財に関する説明会や講座・教室の開催、啓発活動の推進等により、市民の歴史文化に対する 理解と文化財愛護意識の高揚に努めます。

主要事業

文化財保護事業

5-4-5 歴史文化施設の活用

伊達博物館や宇和島城天守等の歴史文化施設について、内外への情報発信を積極的に行うとともに、展示資料の充実や魅力ある事業の展開を図り、利用の拡大に努めます。

主要事業

歷史文化施設管理運営事業

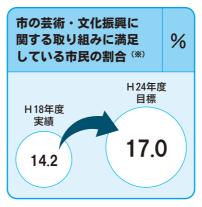
● 成果指標











注)(※)の市民の割合(実績)は、平成18年6月に行った住民アンケート調査の結果による。